

# わたしたちの **乳** しぼり 事例⑥

**飼**養形態 繋ぎ飼い (ニューヨークタイストール)

**搾**乳牛頭数 51頭

**体**細胞数 7.6万/ml リニアスコア：1.7 リニアスコア2以下割合※：74%

※リニアスコア2以下：本当に乳房炎ではない牛の割合 目標は70%以上

## 農場の特徴 (紹介)

父の代から乳質改善に取り組んできた。家族でよく話し合い、共通認識を持ちながら仕事にあたっている。牛舎全体が整理されていて、牛体もきれいに保たれている。奨励される搾乳手順を実践しており、とくに乳頭を丁寧に拭くことで搾乳刺激を十分に与えてからユニットを装着している。さらに過搾乳にならないタイミングでユニットを外すように心掛けている。

## 特に注意している点 (ポイントとなる事項)

- 牛体をきれいに保つこと (例えば、自動給飼機が回り起立後に除糞を行う)
- 基本技術の励行(前搾りを5回以上行うとともに、とくに乳頭口を丁寧に清拭している)
- ユニットを外すタイミング (自動離脱に頼らず、きちんと搾れているか確認して手動で離脱)



## 乳質改善のために取り組んでいる事項

- 乳頭刺激を十分与える
- 自動離脱に頼らず、きちんと搾れているか確認して手動で離脱する
- 乾燥 (通路、牛床、パドックなど)

# わたしたちの **乳** しぼり 事例⑦

**飼**養形態 フリーストール

**搾**乳牛頭数 110頭

**体**細胞数 7.7万/ml リニアスコア：2.1 リニアスコア2以下割合※：63%

※リニアスコア2以下：本当に乳房炎ではない牛の割合 目標は70%以上

## 農場の特徴（紹介）

常に牛の気持ちに立って「牛の目線にどれだけ合わせられるか」ということを大切にしており、農場方針は「利益が出たら土・牛・人で分け合う」となっている。そのため、カウコンフォート（乳牛の安楽性）を高めて、牛のストレスをなくすということを心がけている。哺育期から、撫でたり声をかけることで牛に安心感を与えているため、人を怖がることも無く、成牛になってからでも人に近寄ってくる。

## 特に注意している点（ポイントとなる事項）

「環境をきれいに保つこと」を心がけており、毎日2回、牛床に敷料（おが粉）をたっぷり入れてベッドメイキングをしている。搾乳時は乳頭口を丁寧に清拭し、清拭後のタオルは洗濯して乾燥させる。

## モチベーションアップのためのアイデア

牛が健康で乳をたくさん出してくれることが、「搾乳が楽しい！」「仕事が楽しい！」という気持ちにつながっている。

